

～休講期間中の編入学の取り組みについて～

四年制大学への編入学を希望する1年生と2年生に対し、この休講期間中に行うべき編入学への取り組みについて、以下に簡単にまとめております。今一度この時期に何をしなければならぬのかを考え、さらに実際に行動に移して、この休講期間を過ごして下さい。

【1年生で編入学を希望する学生の取り組みについて】

- 本学部から四年制大学へ編入できる大学の学問分野は、主に経営学、経済学、情報学等の宮古短大の専門分野に関わる学部・学科となります。**編入は大学3年生になるための試験**ですので、**今後何を専門に学びたいのか**を踏まえ、今後の授業の履修を考えて下さい。
- 編入学の試験では、**ほとんどの大学で英語の試験が課されます**。英語の試験が課されない大学は、国公立大学(私立大学も含めて)ではかなり限られます。英語の学習に関しましては、まずは、英検やTOEICの資格試験の取得を目指して、英語の勉強に取り組んで下さい。
- 英語の勉強方法、各専門分野の勉強方法が分からなければ、各担当の専門の教員にメール等で**積極的に質問**して下さい。
- インターネット等で情報を集めて、どの大学を受験するのか、この時期から考えましょう。**保護者の方ときちんと話し合っ**て、受験する大学を決めましょう
- とにかく分からないことがあればクラス担当教員、もしくは編入学担当教員(三村、大前)にメール等で質問・相談をしましょう。

【2年生で編入学を希望する学生の取り組みについて】

- 直近の編入学試験は、岩手県立大学ソフトウェア情報学部となります。志望する学生は、まずは**志望理由書の作成、さらには過去問を解いたり、面接練習をしたりなど具体的な対策が必要**となります。専門分野については情報科学分野の専門教員、英語に関しては英語担当教員にわからないことがありましたら、積極的にメール等で質問しましょう。過去問を解いていてわからないことがある場合も、各専門の先生にメール等で質問しましょう。過去問が手元にない場合には、編入学担当教員(三村、大前)やゼミ担当教員にメール等で相談して下さい。
- 岩手県立大学ソフトウェア情報学部以外の大学につきましても、今から志望理由書の作成や試験勉強に取り組む必要があります。志望理由書や勉強方法等についてわからないことがあればゼミ担当教員やその他専門の教員に質問しましょう。
- 編入学の試験では、**英語の試験が課される大学がほとんど**です。また、大学によっては、英語の資格試験(英検、TOEICなど)があれば英語の試験が免除される大学もあります。新型コロナウイルスの影響で、実施が中止になる資格試験もありますが、受けられる資格試験があれば、英語以外でも受験すること、またそのための勉強をこの時期にしましょう。

- 編入学を希望する学生は、いつまで編入学の意思を貫くのか、場合によっては就職への切り替えをする場合にはいつ進路希望を変更するのか、保護者の方と十分話し合いましょう。
- 四年制大学へ編入する際には、宮古短大で修得できた単位が大学側でどれほど認められるかわかりません。場合によっては、3年間以上大学での勉学期間が必要になる場合も考えられます。2年次前期・後期の履修では、卒業必要単位以上に多くの授業をまず履修しましょう。
- どの大学を受験するか、この時期に何を勉強すればよいのか分からない場合には、ゼミ担当教員や編入学担当教員(三村、大前)に積極的に質問して下さい。

教員のメールアドレスが不明の学生は、この「授業再開までの過ごし方・連絡事項について」ホームページの下部にある問い合わせ先アドレスにて聞いてください。

myk-inquire[at:@]ml.iwate-pu.ac.jp

※@の部分は各自で修正してください。